

事務事業名	穂波庁舎改修事業					事務事業No.	221 - 36			
1. 基本情報										
担当部	担当課		担当係		作成者職名	作成者氏名	所属長職名	所属長氏名		
穂波支所	穂波支所 市民窓口課		市民環境係		主任	井上 英俊	課長	志水 孝		
施策体系	総合計画	政 策	2	行政経営						
		施 策	2	公共施設等の最適化と有効利活用						
		基本事業	1	公共施設の総合的管理の推進						
	その他の計画		個別計画		なし					
根拠法令・条例・要綱等	なし									
事業開始年度	令和3年度		事業終了年度		令和7年度		事務事業類型	施設維持管理事業		
実施手法	その他		補助金等の支給		なし		実施計画期間	—		
2. 事務事業の概要及び目的（決算成果説明書と連動）										
概要	穂波庁舎は穂波地区の行政サービスの拠点であり、支所機能とともに企業局、スポーツ振興課、健幸保健課の本庁としての機能を果たしているが、建築から30年が経過しており施設の老朽化が進み、来庁者及び職員に対しての環境が悪化してきているため、必要な施設設備の改修を行う。									
対象	働きかける相手・もの	穂波庁舎								
手段	方法・働きかけ（活動指標）	庁舎施設設備の改修								
意図	対象をどのようにしたいか（成果指標）	より安全かつ良好な施設環境へと改修する								
3. 活動指標（決算成果説明書と連動）										
指標名		単位	指標の説明（算式等）			前年度実績	本年度実績	次年度見込		
工事監理委託件数		件	工事監理を委託した件数			2	1	0		
改修工事件数		件	改修工事に着手した件数			12	8	1		
4. 成果指標（決算成果説明書と連動）										
指標	維持修繕・更新計画実施件数	単位	達成目標値			前年度実績	本年度実績	次年度見込		
		件	11		目標値	13	10	1		
説明	維持修繕・更新計画に計上している計画のうち、実施した件数	方向性	達成目標年度		実 績	11	6			
		維持	毎年度							
指標		単位	達成目標値			前年度実績	本年度実績	次年度見込		
					目標値					
説明		方向性	達成目標年度		実 績					
指標		単位	達成目標値			前年度実績	本年度実績	次年度見込		
					目標値					
説明		方向性	達成目標年度		実 績					
5. 事務事業実施にかかるコスト（決算成果説明書と連動）										
経費区分	一般会計		政策的経費				特別会計	—		
予算科目・事業	会計	01 一般会計	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	04 財産管理費		
	大	11 穂波庁舎改修事業費	中	01 穂波庁舎改修事業費【政策】	他	0 事業				
投入人員 (当該事務事業に対して1年間に投入した人員)	(R2以降)	前年度実績(千円)		本年度実績(千円)		増減理由(10%以上の場合)		次年度予算(千円)		
	正職員	0.63	人	5,006	0.66	人	5,376	0.90	人	7,330
	任期付職員(保育士)	0.00	人	0	0.00	人	0	0.00	人	0
	任期付職員(子ども家庭支援員)	0.00	人	0	0.00	人	0	0.00	人	0
	任期付職員(CW・水質)	0.00	人	0	0.00	人	0	0.00	人	0
	再任用フル	0.00	人	0	0.00	人	0	0.00	人	0
	再任用短	0.00	人	0	0.00	人	0	0.00	人	0
	1級フル	0.00	人	0	0.00	人	0	0.00	人	0
事業費	1級パート	0.00	人	0	0.00	人	0	0.00	人	0
	2級パート	0.00	人	0	0.00	人	0	0.00	人	0
	人件費計(A)	5,006		5,376		前年度(R5)は本館1階及び2階改修 今年度(R6)は保健センター棟改修で規模が異なるため		7,330		
事業費	直接事業費(B)	509,461		338,822				405,500		
	総事業費(A+B)	514,467		344,198				412,830		
直接事業費のうち の主な歳出内訳	委託料	5,203		7,674				5,508		
	工事請負費	499,393		277,032				397,980		
財源内訳	使用料・手数料(受益者負担分)	0		0				0		
	国・県支出金	0		0				0		
	市債	0		0				0		
	一般財源	514,467		344,198				412,830		
	その他()									

6. 事務事業の事後評価★		
評価視点	評価	評価の理由、または認識している課題を記載
妥当性 評価	高い	飯塚市行政を執行するための施設（支所庁舎）の改修なので市が関与するのは妥当であり、今後も現在の庁舎を継続して使用していくため、必要な改修を行うことは妥当である。
効率性 評価	高い	大規模改修については工事・工事監理とも外部業者に発注することによりコスト削減を図っている。
有効性 評価	高い	穂波庁舎の改修を行い職員の職場環境の向上を図ることで、効果的・効率的な行政推進を図ることができた。

7. 前年度評価時の計画と実績			
前年度評価★		前年度記載した改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★	
評価区分	方向性	次年度以降に予算（コスト）を必要とせず、直ちに実施できる改善策	今後も引き続き施設設備の点検に努め、故障を未然に防ぐ対策を行っていく。
一次評価	⑤コスト・成果ともに現状維持	次年度以降に予算（コスト）増を必要とし、中長期的に実施する改善策	
		前年度改善策に対する実績 ★ ※上記の改善策に対して今年度を実施できたこと、などを記入	
現在までで、空調設備、給排水設備（トイレ）、本館1階、本館2階の改修が終了した。現在、第3期改修（保健センター棟）改修中である。			

8. 今年度評価における成果と課題（決算成果説明書と連動）★	
〔成果〕	現在までで、空調設備、給排水設備（トイレ）、本館1階、本館2階の改修が終了した。現在、第3期改修（保健センター棟）改修中である。
〔課題〕	穂波庁舎での業務を継続しながらの改修となるため、穂波庁舎職員に対しての調整が必要となる

9.今後の事業の方向性と改善策		
成果の方向性	【理由】 ・本館1階改修、本館2階改修（以上R5実施）、保健センター棟改修（R6実施）と同程度の改修（駐車場改修）が残っているため	
現状維持		
コスト投入の方向性	【理由】 ・穂波地区の行政サービスの拠点、及び、企業局、スポーツ振興課、健幸保健課及び感染症対策室の本庁としての機能に変わりがないため	
現状維持		
次年度以降の改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★		
コスト（人・予算等）を必要とせず、ただちに実施できる改善策	今後も引き続き施設設備の点検に努め、故障を未然に防ぐ対策を行っていく。	
コスト（人・予算等）を必要とし、中長期的に実施する改善策	庁舎内の施設設備（床・天井・壁面・照明など）の改修を行う。	

評価変更理由	成果の方向性	合理的な基準を決めて支所機能の取捨選択を行っていく必要があることから将来的には「縮小」
	縮小	
	コスト投入の方向性	合理的な基準を決めて支所機能の取捨選択を行っていくことにより将来的には「縮小」
	縮小	